

令和2年度 市政アンケート調査 第4回結果報告(概要版)

1. 市政アンケート調査の概要

- (1) 目的
- ①本市の施策や事業に関するアンケートを実施し、施策推進のための参考とする。
 - ②アンケート調査を通じ、市民の市政への関心や理解を深める。
- (2) 調査対象者
- 福岡市内に居住する満18歳以上の男女624人(就任時)
- ①選考方法:住民基本台帳から無作為に抽出した市民の中から承諾を得て依頼
 - ②任期 :令和2年4月15日から令和3年3月31日まで
- (3) 調査方法
- 郵送または電子メール
- (4) 調査主体
- 福岡市 市長室 広聴課

2. 第4回調査の概要

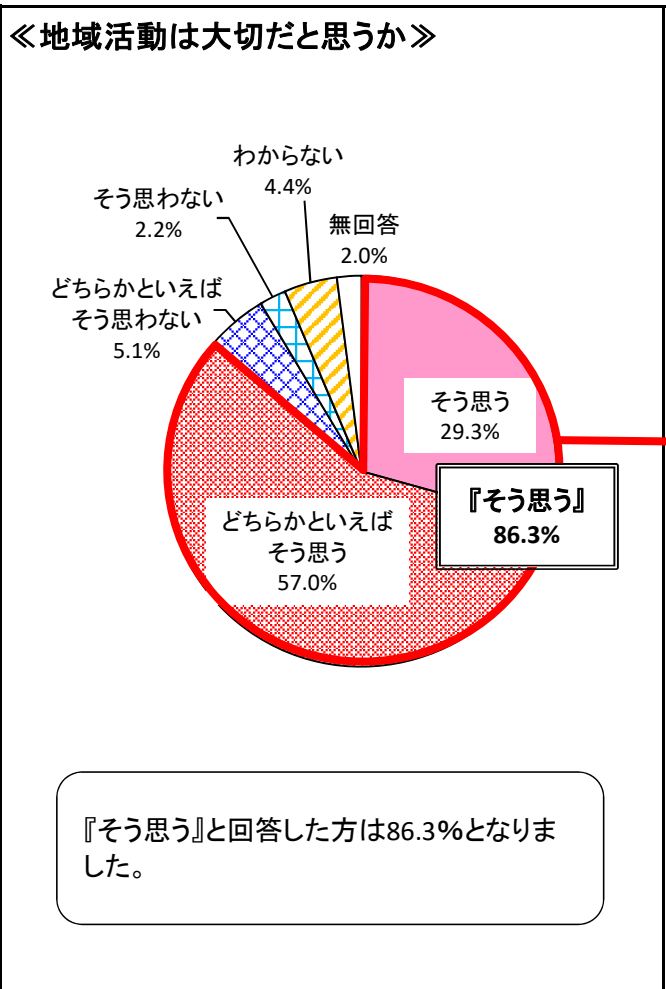
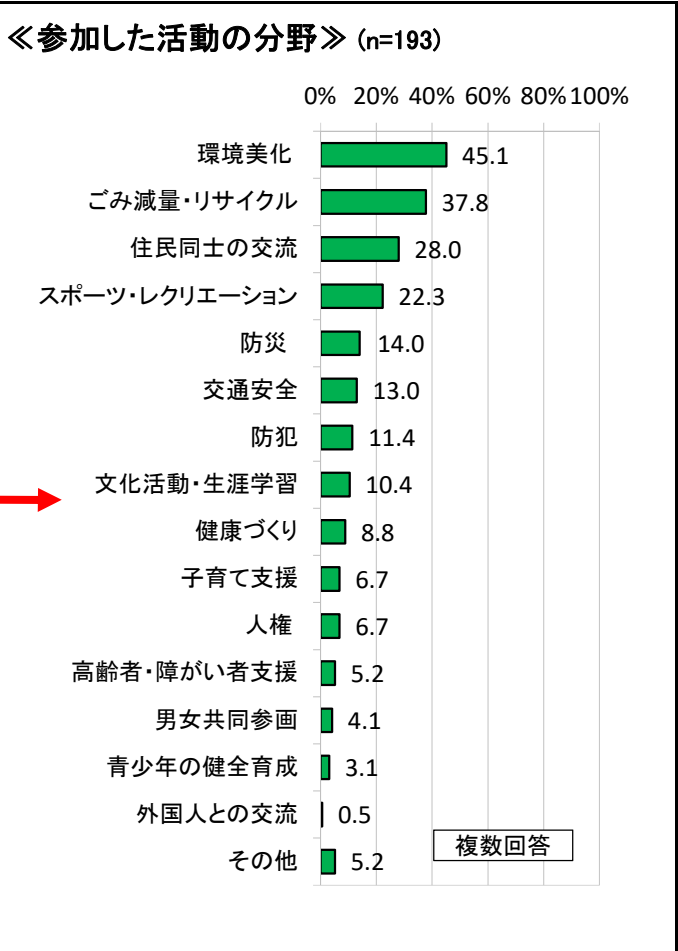
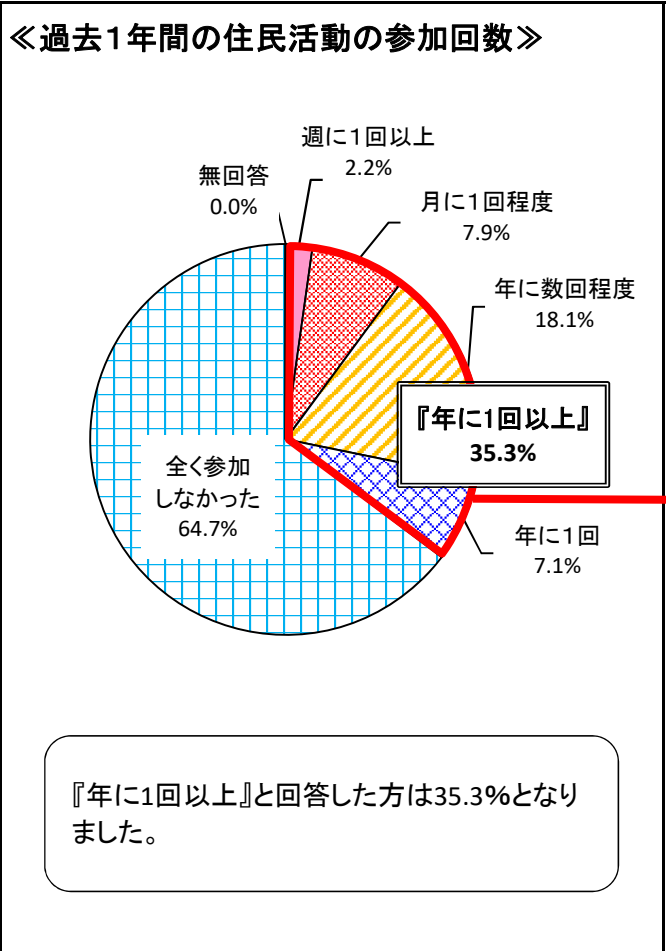
- (1) 調査時期
- 令和2年9月25日から10月9日まで
- (2) 調査対象者数
- 621人
- (3) 回答者数
- 546人
- (4) 有効回答率
- 87.9%
- (5) 調査テーマ
- ①「地域の活動やまちづくり」について
 - ②「図書館の利用」について
 - ③「福岡市の行政運営の取り組み」について

3. 注意点

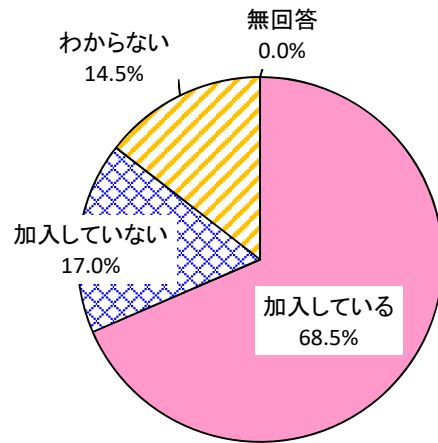
- (1) 各設問の母数(調査の元になる数)は、(N=)または(n=)で表記しています。ただし、グラフ中に特に表記がないものについての母数は、各テーマ横にある(N=)の数字となります。
- (2) 小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合もあります。
- (3) 複数回答ができる設問では、回答率の合計が100%を超えることがあります。
- (4) 今回の調査結果の詳細についてのお問い合わせは、各事業の所管課にお願いします。

①「地域の活動やまちづくり」について(N=546)

※『 』は2つ以上の選択肢を合計して表したものの例:『そう思う』=「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」

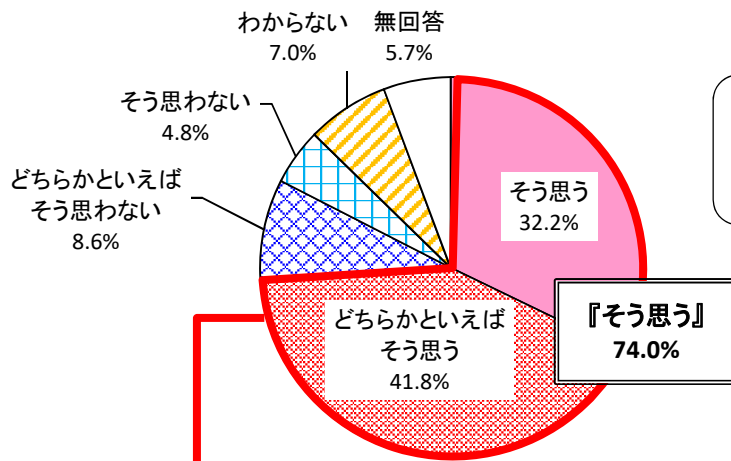


《自治会・町内会の加入状況》



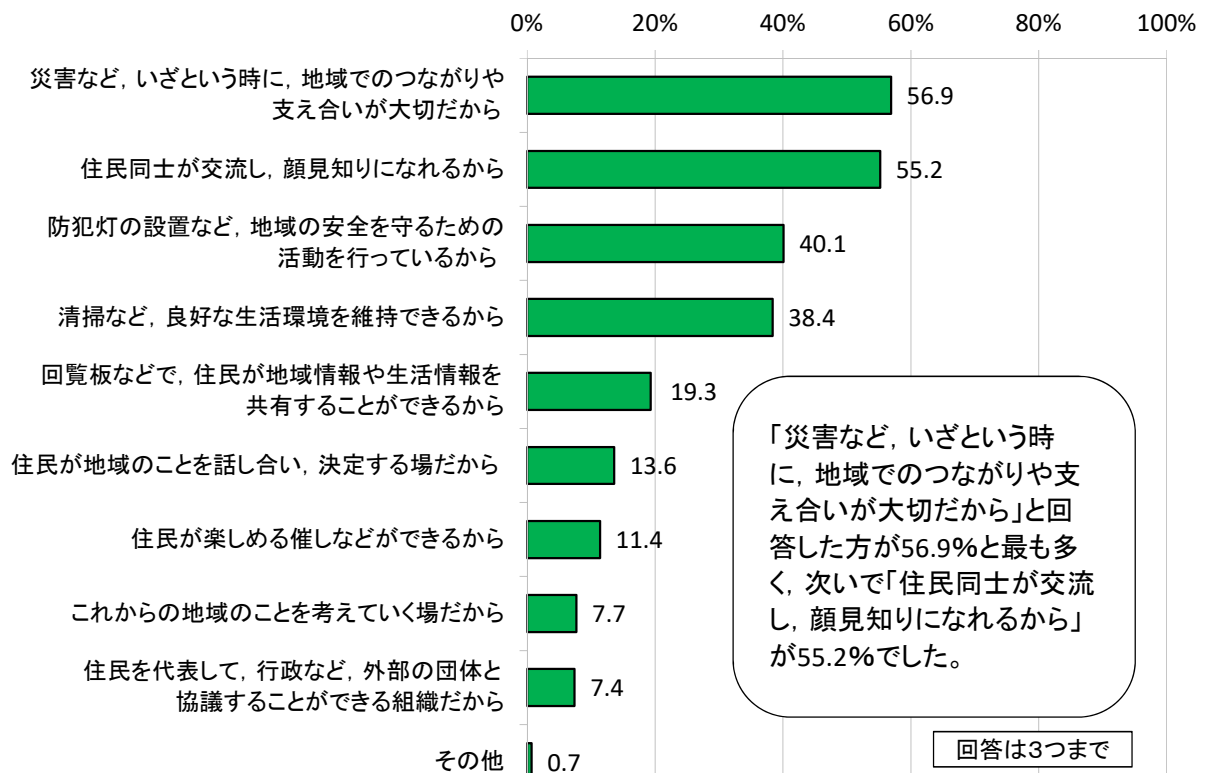
「加入している」と回答した方は68.5%となりました。

《自治会・町内会は必要だと思うか》



『そう思う』と回答した方は74.0%となりました。

《自治会・町内会が必要だと思う理由》(n=404)

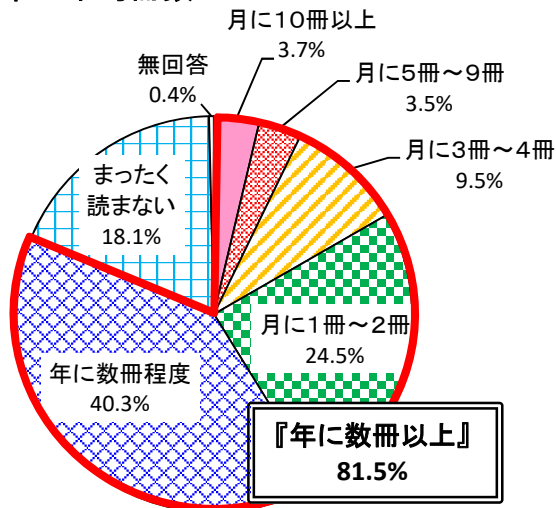


「災害など、いざという時に、地域でのつながりや支え合いが大切だから」と回答した方が56.9%と最も多く、次いで「住民同士が交流し、顔見知りになれるから」が55.2%でした。

回答は3つまで

②「図書館の利用」について(N=546)

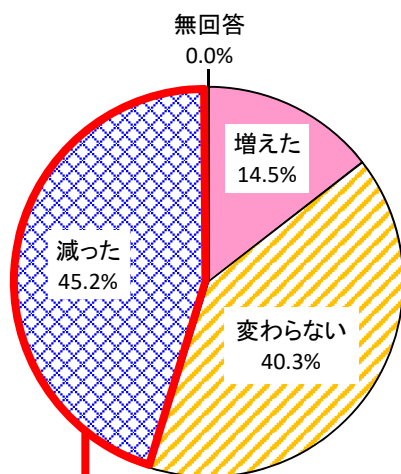
《1か月に読む本の平均冊数》



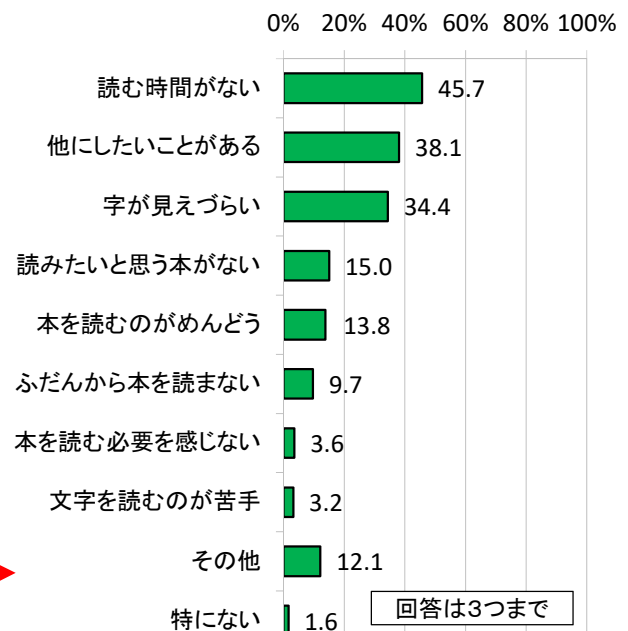
※このアンケートでは「本」に電子書籍は含まれますが、漫画、雑誌は含まないものとします。

『年に数冊以上』と回答した方は81.5%となりました。

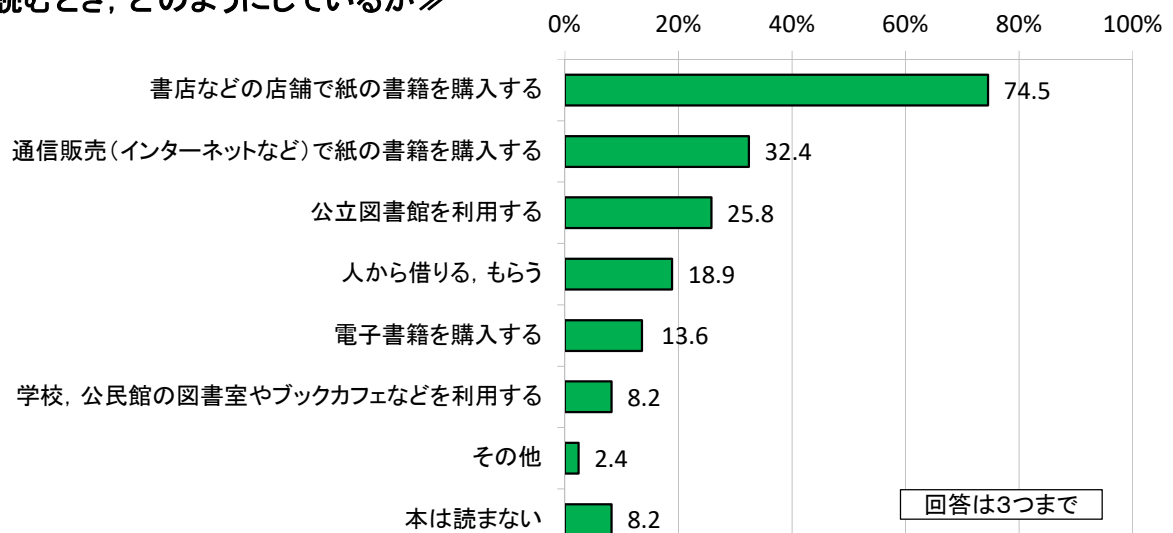
《5～6年前と比べた1日の読書時間の変化》



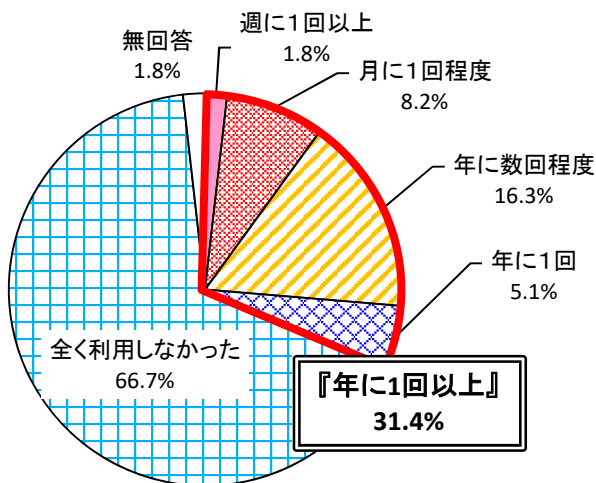
《読書をする時間が減った理由》(n=247)



《本を読むとき、どのようにしているか》

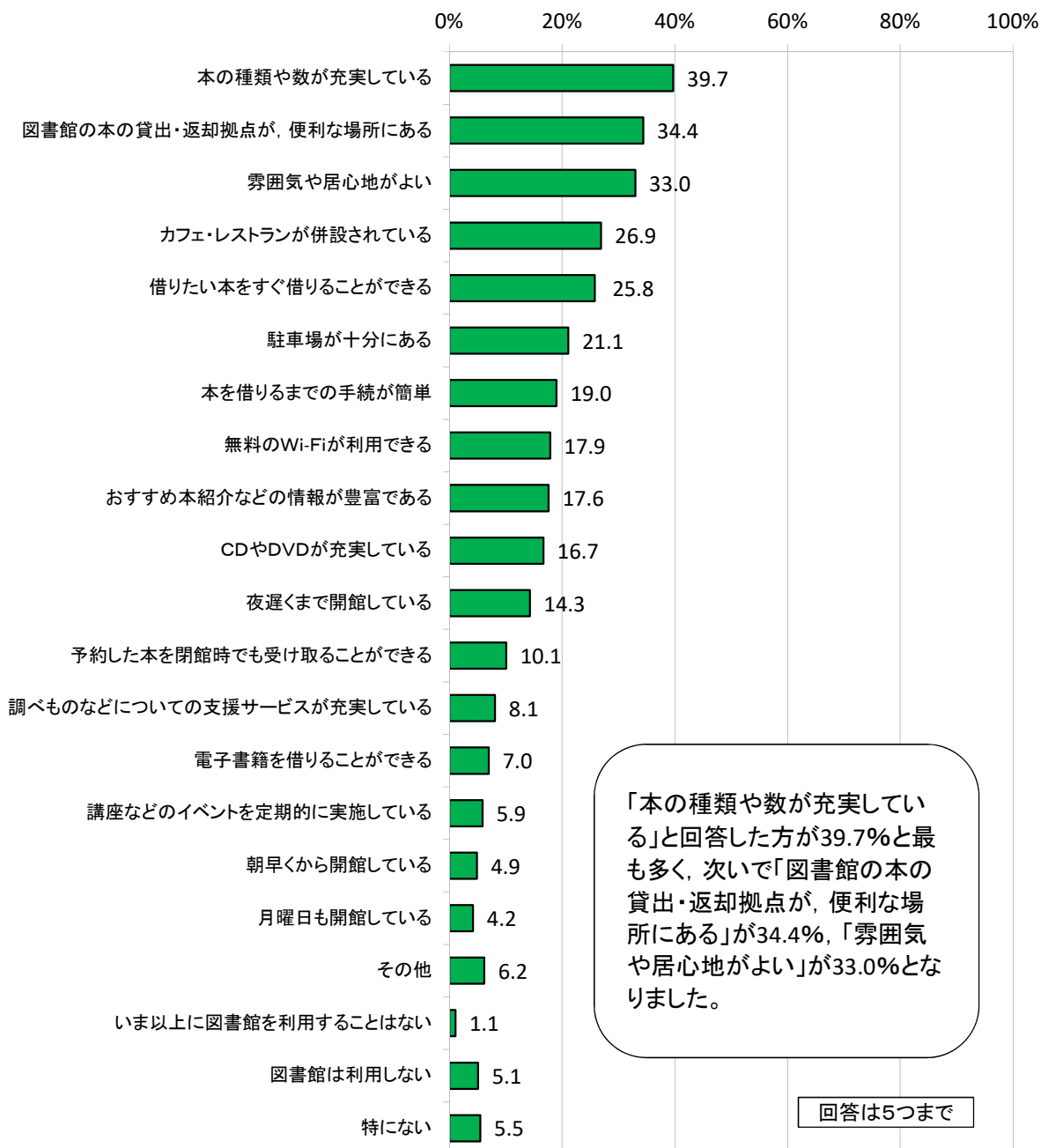


《過去1年間に福岡市内の図書館をどのくらい利用したか》



『年に1回以上』利用したと回答した方は31.4%となりました。

《福岡市の図書館がどのような図書館であれば、いま以上に利用したいと思うか》

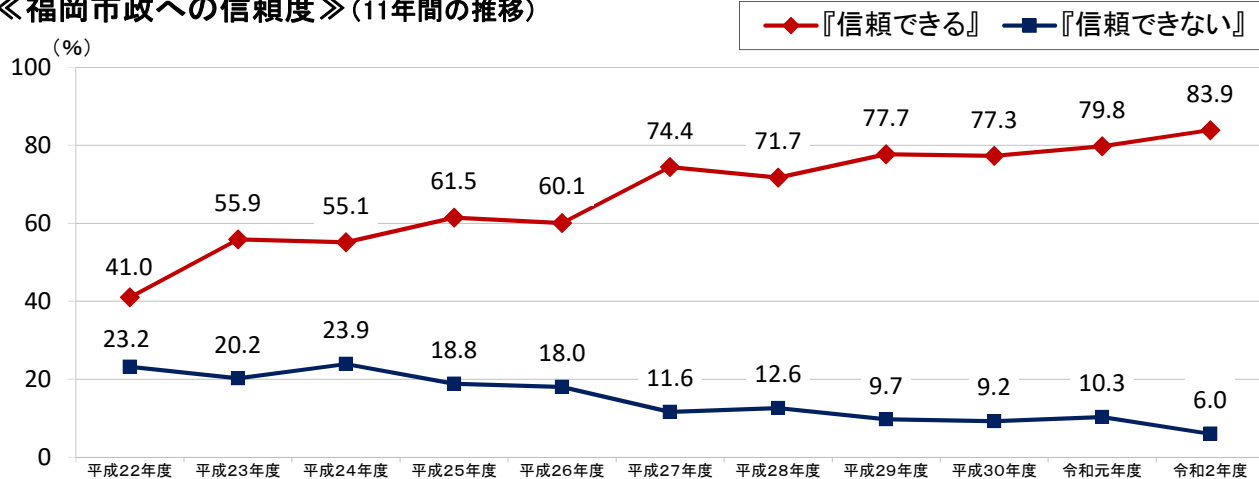


「本の種類や数が充実している」と回答した方が39.7%と最も多く、次いで「図書館の本の貸出・返却拠点が、便利な場所にある」が34.4%、「雰囲気や居心地がよい」が33.0%となりました。

回答は5つまで

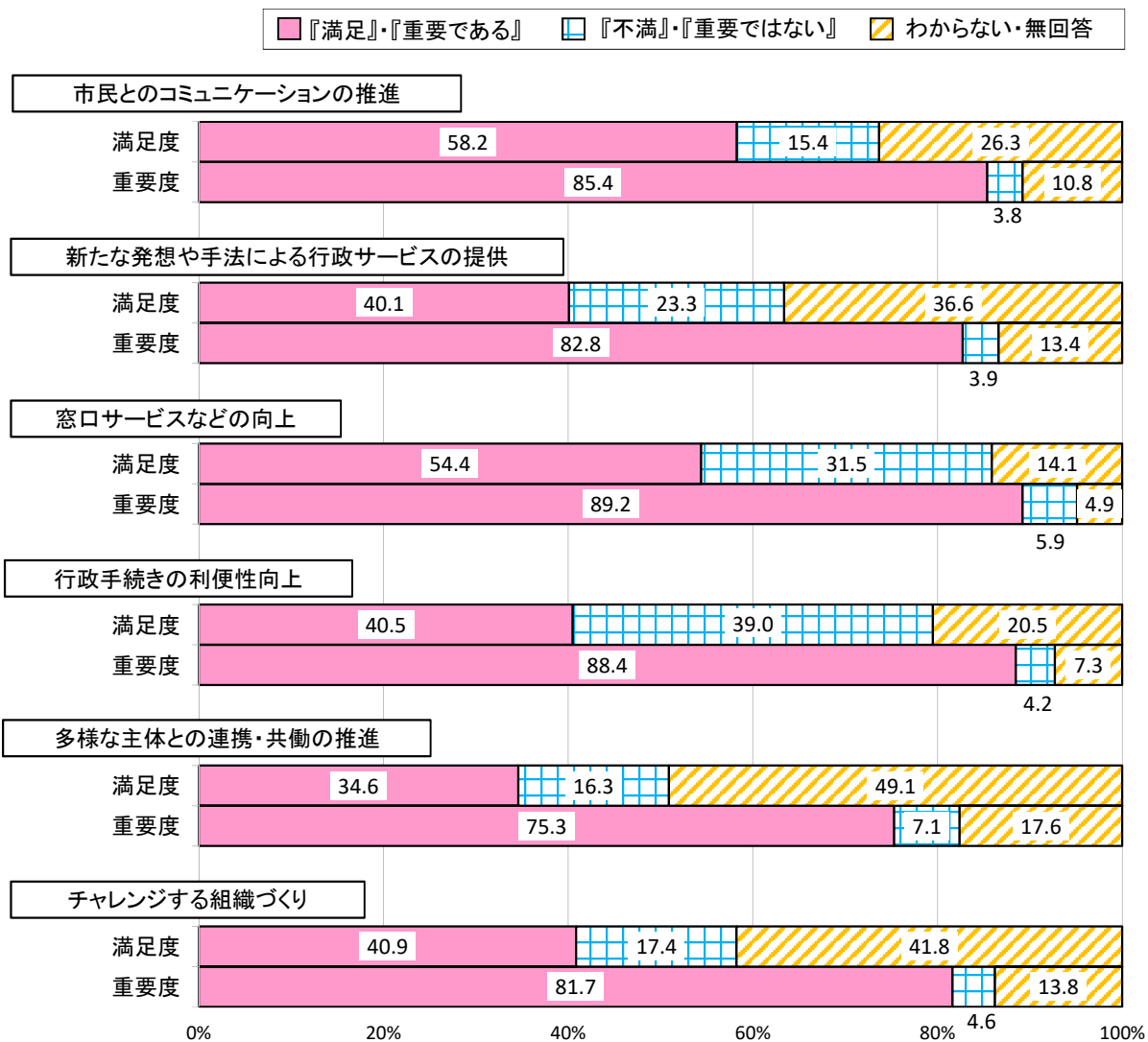
③「福岡市の行政運営の取り組み」について (N=546)

《福岡市政への信頼度》(11年間の推移)



※「わからない」「無回答」: 省略

《「効果的・効率的な行政運営」の取り組みについての満足度・重要度》



満足度は「市民とのコミュニケーションの推進」が58.2%と最も高く、次いで「窓口サービスなどの向上」が54.4%でした。重要度は「窓口サービスなどの向上」が89.2%と最も高く、次いで「行政手続きの利便性向上」が88.4%となりました。